

令和6年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補**・県単

事業名	道路事業 [県道橋りょう修繕事業 (国補)]		事業箇所	甲府市 宝～丸の内	地区名	(一) 中下条甲府線	事業主体	山梨県
-----	------------------------	--	------	-----------	-----	------------	------	-----

計画期間	当初計画	現計画	変更計画
	H24～H26	H24～R6	H24～R12
総事業費	458 百万円	680 百万円	1,100 百万円

④特記事項 (関連事業概要等)
 ・ (一) 中下条甲府線 (飯田工区) R2～R10 L=500m

(1) 事業の概要

①事業目的及び効果

一般県道中下条甲府線は、甲斐市中下条から県庁所在地である甲府市中心に至る重要な路線である。沿道は、商店や住宅・オフィスなどが連担しており、周辺には県立大学や県立病院、公立・私立の高校等の施設が点在する。本路線の無電柱化により、防災上必要な緊急輸送道路の通行確保や歩行者等の安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上を図り、高度情報化社会の実現にも資するものである。

□主要目標 ○歩行者等の通行空間の確保
 歩行者、自転車利用者数 2741人台/12h>80人台/12h以上※
 主要駅 (甲府駅) からの距離 0.3km<概ね1km以内※
 他事業との連携 なし ※評価基準値

□副次目標 ○都市災害防止
 □副次効果 ○バリアフリー化の促進

②事業概要

電線共同溝 L=430m (両側L=860m)

③全体計画

		令和5年度まで	令和6年度 (評価実施年度)	令和7年度以降
現計画	工事内容	設計 電線共同溝工事 補償	舗装工事	
	事業費	659 百万円	21 百万円	
変更計画	工事内容	設計 電線共同溝工事 道路改良工事 補償	電線共同溝工事 補償	電線共同溝工事 補償 舗装工事
	事業費	632 百万円	70 百万円	398 百万円

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

⑤これまでの評価状況 (令和2年度再評価)

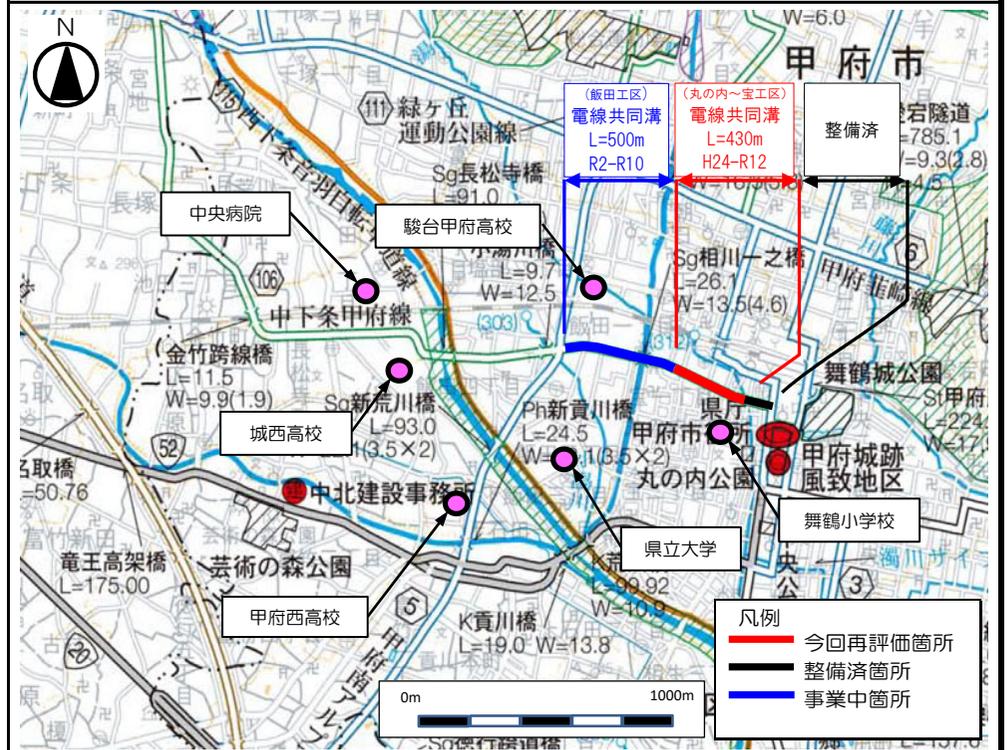
この事業は、(一) 中下条甲府線の甲府市宝～丸の内において、電線共同溝の整備により、防災上必要な緊急輸送道路の通行確保や歩行者等の安全で快適な通行空間の確保を行うものである。

今回の見直し案の主たる内容は、想定外の地下埋設物により新たな移設補償費用が発生したことによる事業費の増額と、関係機関との調整に時間を要したことによる事業期間の延伸である。

現在、8割以上の進捗が図られていること、本事業の完了により歩行者の通行空間の確保や都市災害の防止が期待されることから、見直し案により事業を継続することが妥当である。

事業実施にあたっては、時間管理を徹底し、見直し案のとおり令和6年度の完成に努められたい。

(2) 事業位置図等



2.評価シート（1）

（1）事業を巡る社会経済情勢等の変化

（今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容）

①地域・住民の意向状況

変化なし

②産業・経済情勢

変化なし

③国等の方針

変化なし

④上位計画・関連事業計画等

- ・「山梨県総合計画」（令和5年10改定）
- ・「山梨県強靱化計画」（令和6年3月改定）
- ・「山梨県社会資本整備重点計画（第四次）」（令和4年9月改定）
- ・「山梨県無電柱化推進計画（第8期）」（令和6年2月策定）

⑤自然環境条件等

変化なし

⑥その他

変化なし

（2）評価時点の費用対効果分析

項目		着手時点		変更計画時点	
総事業費			百万円		百万円
工期		～		～	
評価基準年					
経済 効 率 性	費用		百万円		百万円
	建設費		百万円		百万円
	維持管理費		百万円		百万円
	その他(百万円		百万円
	便益		百万円		百万円
			百万円		百万円
			百万円		百万円
	その他※		百万円		百万円
B/C					

※電線共同溝事業であり、費用便益の算出規定がないため不算出。

（3）これまでの計画変更等の概要

（令和2年度再評価）

令和2年度中に甲府駅周辺土地区画整理事業による用地取得の目途が立ったため、計画期間を令和6年度まで延期した。また、既存の地下埋設物が多く、これらの支障物件移設補償費が増加した。

- ・完成年度 令和3年度 → 令和6年度
- ・事業費 595百万円 → 680百万円

評価シート（2）

（4）事業進捗状況及び見込み

①進捗率
別表のとおり。
R6年度進捗率（現計画）100%→（実績）103.2%→（変更計画）63.8%

②進捗率実績が計画と相違している理由
宝一丁目交差点内の地下埋設物が輻輳しており、現状把握に多数の試掘を要するとともに、地下埋設物を回避するための占有者協議が難航。また、甲府駅周辺土地区画整理事業の用地取得に日数を要したため、電線共同溝工事に着手できない状況であったことによる。

③総事業費の変更内容

変更工種等	事業費増減	変更理由
工事費	270 百万円 増	新たに確認された地下埋設物を回避するための設計費用及び工事費の増加 沿線の建物計画に合わせた引込設備や分岐柵の増加
補償費	150 百万円 増	新たに確認された地下埋設物の移設補償費の増加
合計	420 百万円 増	

④事業期間の変更理由及び進捗予定
地下埋設物の現状把握と地下埋設物を避けるための占有者協議が難航したこと、甲府駅周辺土地区画整理事業の用地取得に日数を要したことにより、工事進捗が遅れているため、事業期間を6年間延長する。現在は、地下埋設物を回避できる見込みが立ち、甲府駅周辺整備事業の用地取得は令和5年度に完了したため、早期の工事発注に努め、令和12年度の完成を予定している。

⑤今後の事業執行における留意点

地下埋設物の回避

（5）環境負荷等への配慮

なし

（6）コスト縮減の可能性

なし

（7）代替案立案の可能性

なし

（8）所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ）

（理由）
甲府駅周辺土地区画整理事業による用地取得が100%となり、無電柱化の効果を早期に発現させるため、変更計画に基づき令和12年度の完成を予定している。

○別表-進捗率（事業費ベース）

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	*H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	*R2	R3	R4	R5	*R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
現	計画	10.3	23.2	36.1	46.5	59.2	65.2	71.6	80.4	86.3	90.0	93.6	97.0	100.0						
	実績	10.3	23.2	36.1	46.5	59.2	65.2	71.6	80.4	82.5	83.6	85.2	92.9	103.2						
変更計画														63.8	70.2	76.5	82.9	89.3	95.6	100

*事業着手年度又は評価年度
*R6年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)

平面図

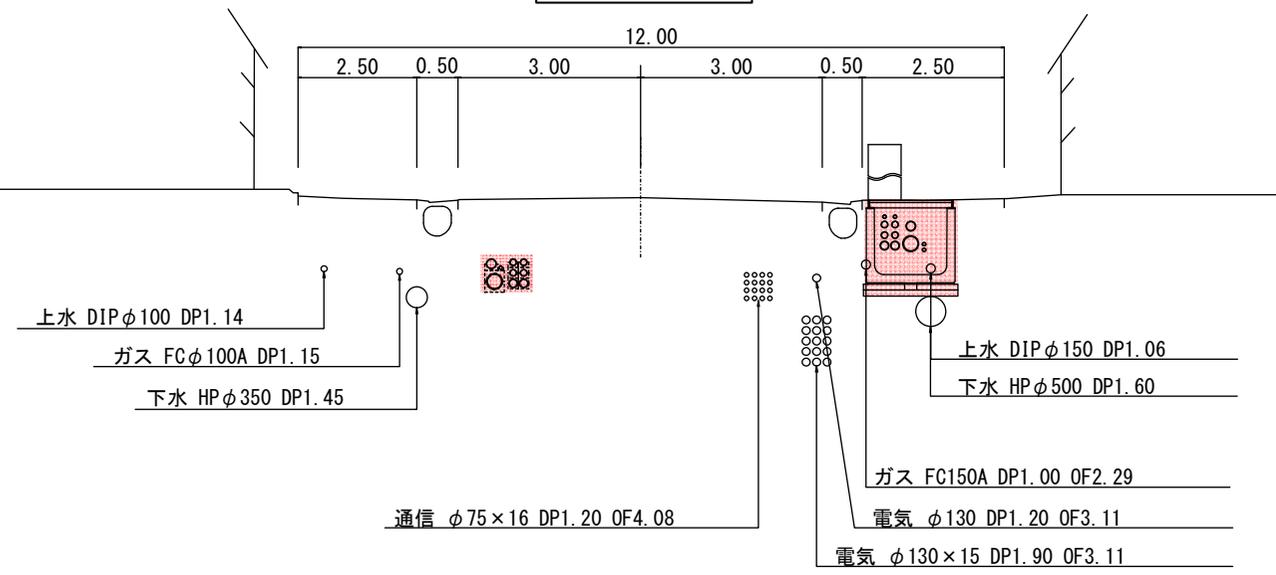
一般県道中下条甲府線（宝～丸の内区） 無電柱化計画延長 L=430m（両側860m）

凡例

- 施工済箇所
- 未施工箇所

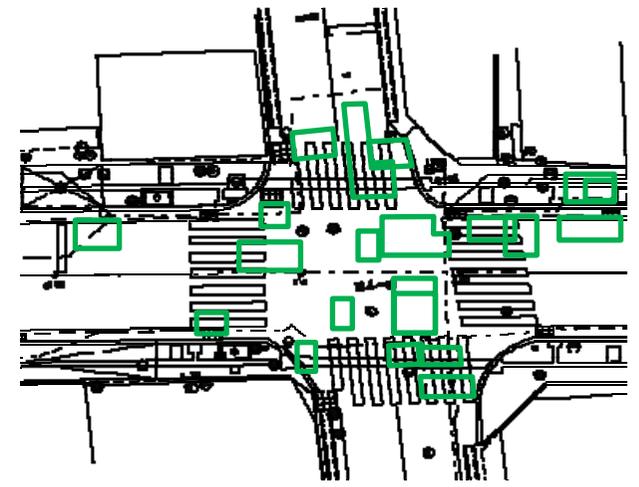


標準横断面図



宝1丁目交差点

□ 試掘箇所



3. 添付資料シート (2)

① 現道の状況 (歩道の電柱が歩行者の支障となっている)



② 現道の状況 (歩道の電柱が歩行者の支障となっている)



③ 現道の状況 (歩道の電柱が歩行者の支障となっている)



④ 現道の状況 (歩道の電柱が歩行者の支障となっている)



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H24	69,921	設計・電線共同溝工事	10.3
H25	87,819	電線共同溝工事・補償費	23.2
H26	87,745	設計・電線共同溝工事	36.1
H27	70,553	設計・電線共同溝工事・補償費	46.5
H28	86,662	電線共同溝工事	59.2
H29	40,363	電線共同溝工事・補償費	65.2
H30	43,594	設計・電線共同溝工事	71.6
R1	60,150	設計・電線共同溝工事	80.4
R2	13,862	補償	82.5
R3	7,717	設計・補償	83.6
R4	10,812	設計	85.2
R5	52,700	設計・道路改良工事	92.9
R6	70,000	電線共同溝工事	63.8
R7	70,000	電線共同溝工事・補償	70.2
R8	70,000	電線共同溝工事・補償	76.5
R9	70,000	電線共同溝工事・補償	82.9
R10	70,000	電線共同溝工事	89.3
R11	70,000	電線共同溝工事	95.6
R12	48,102	舗装工事・補償	100.0
合計	1,100,000		